

平成30年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第5号（水稻）

平成30年8月8日発表
広島県西部農業技術指導所
対象期間 平成30年8月上旬～8月下旬



1		予報内容（8月下旬まで）		
病害虫名		現況	予報	防除上の注意事項
穂いもち	中生	並 (葉いもち)	並	<ul style="list-style-type: none"> ◇穂ばらみ期、穂ぞろい期の穂いもちの基幹防除を徹底する。 ◇にわか雨が多い場合は病勢が急激に進展するため、ほ場を見回り、葉いもちの多発が見られたほ場では直ちに防除する。 ◇中生品種でも葉いもちが見られたほ場では穂いもちの発生に注意する。 ◇葉いもちが多発しているほ場では穂ぞろい期防除の7～10日後に追加防除を行う。
紋枯病	早生	やや多	—	<ul style="list-style-type: none"> ◇昨年度、紋枯病が多かったほ場は発生に注意。 ◇分けつ数の多いほ場では、発生しやすいので注意する。 ◇要防除水準：穂ばらみ期の発病株率が中生品種で20%以上。 ◇要防除水準に達したほ場では防除を徹底する。
	中生	やや多	やや多	
トビイロウンカ		並	並	<ul style="list-style-type: none"> ◇巡回調査では、発生は認められていない。また、予察灯への誘殺も認められていない。 ◇要防除水準は第2世代幼虫期に1株あたり5頭以上（25株調査）である。 ◇9月以降に被害を受けやすい中生品種、飼料用稲は警戒が必要である。今後の情報に注意する。
斑点米カメムシ類（カスミカメムシ類、その他加害種）※	中北部	—	やや多	<ul style="list-style-type: none"> ◇出穂期近くになっての畦畔などの除草は、カメムシ類を水田内に追い込むことになるので、出穂2週間前までに終える。 ◇予察灯（呉市安浦町）で誘殺数が多くなっている所以注意する。 ※カスミカメムシ類はアカスジカスミカメなどの小型のカメムシ類、その他加害種はホソハリカメムシなどの大型のカメムシ類。

○病害虫発生予察情報やフェロモントラップ等の調査データは、[広島県ホームページ](#)で閲覧できます。

広島県 植物防疫

検索

または



○お問合せ先：広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
(東広島市八本松町原 6869 tel: 082-420-9662)

(1) 穂いもち（中生：13地点調査）

◆現況調査結果（中生：並（葉いもち））

	県内全域		
	中生（葉いもち）		
	本年	平年	前年
発生地点率	66.7	49.6	30.8
平均発生程度	1.21	1.18	1.06

(2) 紋枯病（中生：13地点調査）

◆現況調査結果（中生：やや多）

	県内全域		
	中生		
	本年	平年	前年
発生地点率	66.7	45.5	84.6
平均発病株率	8.0	8.5	25.8

(3) トビイロウンカ（26地点調査）

◆現況調査結果（並）

	本年	平年	前年
発生地点率	0	6.1	0
平均発生程度	1.00	1.01	1.00

【予察灯（呉市安浦町）での7月31日までの誘殺数累計】 本年0頭，平年1.3頭，前年0頭。

(4) 斑点米カメムシ類

【予察灯（呉市安浦町）での7月第4半旬から第6半旬までの誘殺数累計（アカスジカスミカメ）】

本年 148頭，平年 65.2頭，前年 204頭。

◆牧草地すくい取り調査結果については発生予察情報予報第3号を参照する。

「予報」「現況」は、「多～少」の5階級に区分して発表しています。区分の方法は、原則として、過去10年の数値を発生が多かった順に並べて、相対比較しています。

「多」： 1番目（最多年）と同程度以上

「やや多」： 2～3番目と同程度

「平年並」： 4～7番目と同程度

「やや少」： 8～9番目と同程度

「少」： 10番目（最少年）と同程度以下

区分	多	やや多	並				やや少	少		
順序	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

3

その他の病害虫の発生状況（現況調査：8月1～3日，26地点調査）

病害虫名	現況	防除上の注意事項等
セジロウンカ	少	穂ばらみ期に幼虫が株当たり10頭以上いたら防除を行う。
コブノメイガ	並	被害株率20%以上の場合防除を行う。

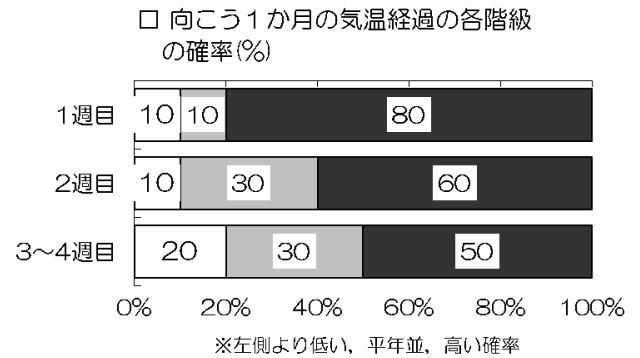
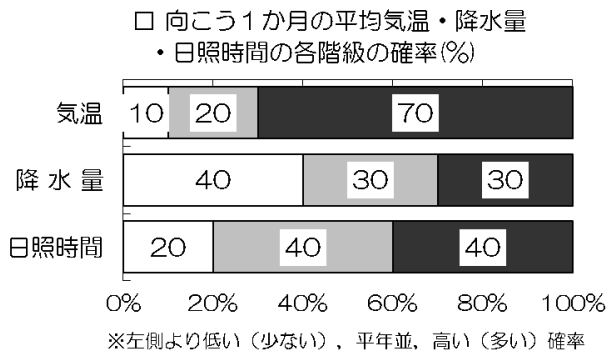
4

気象情報

中国地方1か月予報（広島地方气象台8月2日発表，8月4日から9月3日までの天候見通し）

平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

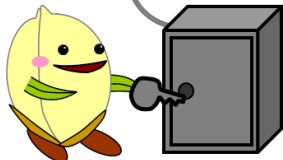
向こう1か月の平均気温は，高い確率70%です。日照時間は，平年並または多い確率ともに40%です。
向こう1か月の降水量は，高い確率80%です。



6月1日から8月31日まで，**農薬危害防止運動**実施中！

農薬を使う際は，容器のラベルをよく読んで，

使用方法や注意事項を守り，農薬による危害と事故を防ぎましょう。



粃之進



りもれん